

令和7年度 学校評価表

樣式

学校教育目標 確かな力で未来を拓く教育の創造

尾道市立御調西小学校

(外部評価) イ：自己評価は適切である

□：自己評価は適正である

八：わからない。

方策進行管理シート

様式2

令和7年度 尾道市立御調西小学校

	目標達成のための方策	活動	4月			5月			6月			7月			活動達成度	方策達成度	取組評価							
			目標数		目標数		目標数		目標数		目標数		目標数											
			達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数	達成数									
確かな学力の育成	○授業改善による学力の定着 • 学力調査の結果分析から小中で取り組む内容を決め全学級で実施する。	○国語・算数のテスト平均点 低学年90点以上 中学年85点以上 高学年80点以上 (毎月)	90	85	80	90	85	80	90	85	80	90	85	80	国 94点 89点 89点 算 97点 85点 88点	国 104% 105% 111% 算 108% 100% 110%	A A A 算 A A A							
			- 100	92 87	92 91	99 98	82 91	88 86	92 94	90 84	88 92	91 94	90 79	87 83										
			- 111	108 102	115 114	110 109	96 107	110 108	102 104	106 99	110 115	101 104	106 93	109 104										
豊かな心と体の育成	○生活科・総合的な学習の時間を中心とした表現力の向上	○「友達や先生の前で自分の意見を伝えることに自信がある。」と答える児童の割合 肯定的評価80%以上（学期末） ※評価指標を学期末アンケートに入れる。	○標準学力調査 • 前年度の全国平均との差を上回る (1年生は、全国平均+5) ※国・算×6学年（12項目）のうち75%（9項目）以上																					
			○「友達や先生の前で自分の意見を伝えることに自信がある。」と答える児童の割合 肯定的評価80%以上（学期末） ※評価指標を学期末アンケートに入れる。												80	81%	101%	A						
地域と共に歩む学校	○学級や学校内で役割を持たせ、協働して活動する機会の設定。 • 1～3年 係活動等 • 4年 委員会活動等 • 5～6年 委員会クラブ活動、縦割り活動、学校行事等 ○職員全体で、児童が当たり前に今できている行動を認め価値付ける（風土の醸成）。	○自分の活動がみんなの生活に役立っていると実感できる児童の割合 肯定的評価90%以上（学期末）	90	90			90	90			90	90			95%	106%	A							
			93	94			96	97			97	98%												
	○体育の授業を中心に、単元に応じて個人の目標値と自分の成長を可視化できる機会を設定	○「目標に向かって取り組み、自分の目標を達成できた、成長を感じられた。」と答える児童の割合 肯定的評価90%以上（学期2回）	運動会 90 97												水泳 90	99	98%	109%	A					
	○コミュニティ・スクールのよさを生かした教育活動の実施	○「地域と関わりながら、地域のことを学ぶことが好き。」と答える児童の割合 95%以上（学期末）	95 95												95%	100%	A							
			○「私は、日々の業務の中で充実感を得られている。」と答える職員の割合 80%以上（働き方改革アンケート）												80	94%	118%	A						
94												94												

【取組評価】 A:100≤(目標達成) B:80≤(ほぼ達成)<100 C:60≤(もう少し)<80 D:(できていない)<60